

# Pisca-Pisca

percussion & marimba duo works

## Nino Nina



CLASSICS

NIKU-9037



# Pisca-Pisca

percussion & marimba duo works

## Nino Nina

### ピスカ・ピスカ パーカッション&マリンバ・デュオ作品集

- 1 兼松衆:ピスカ・ピスカ ..... 5'14"  
Shu Kanematsu: "Pisca-Pisca" for 2 marimbas (2020)
- 2 アヴネル・ドルマン:ウダクレップ・アクブラド ..... 8'17"  
Avner Dorman: "Udacrep Akubrad" for two marimbas, 2 tom-toms, and 4 darbukas (2003)
- 3 アンドリュー・ヨーク:三千院 ..... 4'55"  
Andrew York: "Sanzen-in" (2000)
- 4 イゴール・レスニク:ニ・ノ・ニ・ナ ..... 6'52"  
Igor Lešnik: "NI NO NI NA" for marimba 4 hands and tupan (2015)
- 5 イヴァン・トレヴィーノ:キャッチング・シャドウズ ..... 7'36"  
Ivan Trevino: "Catching Shadows" marimba duo version (2013)
- 6 小野史敬:「時」の彫刻 ..... 8'17"  
Fumihiko Ono: "Time Sculpture" for marimba & snare drum (2020)
- 7 アンダース・コッペル:トッカータ ..... 10'15"  
Anders Koppel: "Toccata" for vibraphone & marimba (1995)
- 8 風間真:マダガシカラ ..... 5'10"  
Makoto Kazama: "Madagasikara" for marimba duo (2020)
- 9 加藤大輝:ラスト・ダンス ..... 6'36"  
Daiki Kato: "The Last Dance" duet for marimba and percussion, op.49 (2015)
- 10 イヴァン・トレヴィーノ:2+1 ..... 5'31"  
Ivan Trevino: "2+1" marimba duo. for mandy. (2013)

Total playing time [69'15"]

ニ・ノ・ニ・ナ | 新野将之&藤澤仁奈(パーカッション&マリンバ・デュオ)  
Masayuki Nino & Nina Fujisawa, percussion & marimba duo

## ピスカ・ピスカ

"Pisca-Pisca" for 2 marimbas

某放送局の録音セッションで新野君の素晴らしいパーカッションを収録した後のロビーにて、今回の委嘱作品についてお誘いをいただいたのが20年3月のことでした。

「Pisca-Pisca」はポルトガル語で「点滅する光＝ピカピカ／キラキラ」  
タイトルを考えるのがとても苦手でいつも苦心するのですが、今回はこのチャーミングなデュオのためにぴったりのタイトルを思いついてしまいました。ブラジリアンの爽やかでいて、内に熱を秘めたgrooveをお楽しみいただけましたら幸いです。

兼松 衆

## ウダクレップ・アクブラド

"Udacrep Akubrad" for 2 marimbas, 2 tom-toms, and 4 darbukas

アヴネル・ドルマンはイスラエル出身の作曲家であり、その作品の多くに中東の旋法が用いられています。本作品は彼自身が書いた打楽器デュオとオーケストラのための協奏曲《スパイス、パフェウム、トキシン!》の第一楽章〈スパイス〉をベースにパーカッション・デュオ・ヴァージョンに作曲されたもので、中盤で活躍するダラブッカ(中近東発祥の民族太鼓)、マレットを用いず素手でマリмбаを叩く特殊奏法、そして何より曲全体が超絶技巧のオンパレードというスパイスが効いた一曲となっています。

新野将之

## 三千院

"Sanzen-in"

ギタリスト・作曲家アンドリュー・ヨークの2台のギターのための作品を、マリмба・デュオで演奏しています。  
彼が来日時に京都「三千院」を訪れた際のインスピレーションをもとに書かれた作品で

あり、日本への憧れが込められた郷愁漂う作品です。

アンドリュー・ヨーク本人から「Congratulations on your recording of Sanzen-in, I like it very much on Marimba, and I like the way you play it. Very well done! (レコーディングおめでとうございます。マリмбаでの演奏も、プレイも非常に素晴らしいです!)」と大変嬉しいお墨付きを頂戴いたしました。

新野将之

## ニ・ノ・ニ・ナ

"NI NO NI NA" for marimba 4 hands and tupan

2014年にニーノ・ニーナからマリimbaとトウパン(東欧に伝わる両面に皮が張ってある太鼓)のための委嘱を受けて作曲しました。

この音楽は、2010年から2014年にかけて作曲したマリimbaのためのポリプティック(多翼祭壇画)に属するもので、その中の《ニーナ》の音楽語法やテーマを《水の彫刻》で更に練り上げたものから派生しました。2017年に楽譜が出版されて以来、数多くの団体によって世界中で演奏されてきた本作ですが、この2021年のアルバムの録音はその集大成といえます。委嘱、アレンジ、スタンダードな楽曲など様々な作品を取り上げて活動する彼らの一助となれた事を嬉しく思います。

イゴール・レスニク(訳/新野将之)

## キャッチング・シャドウズ

"Catching Shadows" marimba duo version

パーカッショニスト、ロック・ドラマーのイヴァン・トレヴィーノが、イーストマン音楽学校のパーカッション教授であるマイケル・バーリットとのデュオ作品として委嘱され作曲したマリimba・デュオ作品。

呼応するミニマル・ミュージックの要素と、キャッチーなメロディーが特徴的に描かれており、多くのマリimba奏者に親しまれている。マリimbaならではの重厚な響きを味わえる

この作品だが、パーカッションを加え、更にパワーアップした六重奏ヴァージョンとしても演奏されている。

藤澤仁奈

## 「時」の彫刻

“Time Sculpture” for marimba & snare drum

本作品の作曲家である小野史敬氏は、作曲家としても打楽器奏者としても最先端の技術と発想でクリエイティブなパフォーマンスを生み出す、私がいちより尊敬する人物の一人です。本作品はそんな小野さんに「メロディーを受け持つスネアドラムとマリンバのためのデュオ作品を書いてほしい!」という何とも無茶な要望をしたところ、見事に叶えてくださいました!

新野将之

## トッカータ

Toccata for vibraphone & marimba

ロック・バンドや映画音楽などポピュラー領域で活躍する作曲家アンダース・コッペルの作品。このヴィブラフォンとマリンバのための「トッカータ」は、コッペルにとってクラシック領域の作品に重点を移すきっかけとなったとも言われている。ジャズやピアノの影響を受けたとされる彩り豊かな本作品は、多くのマリンバ奏者から絶大な支持を集めている。ヴィブラフォンとマリンバデュオに3つの管楽器、ティンパニ、打楽器、弦楽5部を加えた管弦楽付きヴァージョンとして演奏されることもある。

藤澤仁奈

## マダガスカーラ

“Madagasikara” for marimba duo

「マリンバ・デュオの曲を」という委嘱作品。マリンバは西アフリカのバラフォンが起源。アフ

リカというキーワードから様々なイメージが浮かんだ。人間の起源もアフリカ。原始時代、地面の穴に木を渡し叩いたというグラウンドドラム。マリンバという楽器には、人間が原初、持ち合わせていた感覚を呼び覚ます力がある。そういう音楽こそマリンバに相応しい。アフリカのリズム、夜の森を徘徊するアイアイやホロホロ鳥の鳴き声、草原の夜明け、木の音板が共鳴する神秘的な響きでマダガスカルを表現したくなった。マダガスカルの精霊たちは、きっとこの曲を喜んでくれるだろう。

風間真

## ラスト・ダンス

“The Last Dance” duet for marimba and percussion, op.49

あなたは、いつ最後のDanceだと決めたのだろうか。  
あなたは、いつから最後のDanceのことを考えはじめたのだろうか。  
あなたは、いつの間に最後のDanceがあることを予感したのだろうか。

私は、いつ最後のDanceであることに気づくのだろうか。  
私は、いつ最後のDanceであったことを受け入れるのだろうか。  
私は、いつ最後のDanceを忘れることができるのだろうか。

加藤大輝

## 2+1

Ivan Trevino: “2+1” marimba duo. for mandy.

キャッチング・シャドウズの作曲者でもあるイヴァン・トレヴィーノのマリンバ・デュオ作品。マリンバ一台を二人の奏者が白鍵側と黒鍵側から向かい合いながら演奏するユニークな作品は、両者のプレーヤー間のタイミングがより必要とされる。静かな余韻が響き渡り、優しさに包まれる1曲である。

藤澤仁奈



## 新野将之

Masayuki Nino

2011年国立音楽大学打楽器科を首席で卒業。同時に「矢田部賞」を受賞。第81回読売新人演奏会に出演。2009年第7回PASイタリア国際打楽器コンクール最上位。2012年第7回チエジュ国際金管打楽器コンクール最上位。2018年第1回日本国際打楽器コンクール最上位。他、受賞歴多数。2013年デビュー・リサイタルを開催。同年クロアチア国際打楽器フェスティバル出演。2014年ルーマニアで開催された国際打楽器フェスティバルに出演。2017年299 MUSICよりデビュー・アルバム「スネアは唸り、そして飛翔する」をリリース。2018年ミュゼザ川崎シンフォニーホールにて、ランチタイムコンサート/ナイトコンサートに出演。2019年第17回PASイタリア国際打楽器コンクールにゲスト・アーティストとして参加し審査及びリサイタルを行う。2020年より地域創造公共ホール活性化事業「おんかつ」アーティストとして日本各地で公演を行う。

打楽器アンサンブル『Shiniti Uéno & PHONIX-Réflexion』、パーカッション&マリンバデュオ『Nino Nina』、吹奏楽団『Hearts Winds』、ファミリー音楽企画『とことんトン!』メンバー。東京コンサーツ所属アーティスト。

ソロを始め、オーケストラ、吹奏楽、室内楽、劇版収録やミュージカルなど幅広いフィールドで活動しており、これまでに数多くのコンサート、レコーディングに参加。

クラシック音楽にとどまらず、朗読やバントマイムなど様々なジャンルのアートを取り入れた独創性溢れるステージを展開しており、テレビやラジオといったメディアにも度々出演している。

Black Swamp Percussion社・Thunderbolt Percussion社アーティスト・エンダーサー。東京音楽学院講師。



## 藤澤仁奈

Nina Fujisawa

国立音楽大学附属高等学校を経て、2015年国立音楽大学打楽器科を首席で卒業。同時に「武岡賞」を受賞。2016年The Great Plains国際マリンバコンクール(アメリカ)第1位。2013年国際マリンバコンクール(ベルギー)第3位。併せて審査委員長イゴール・レスニク賞受賞。

2012年第22回日本クラシック音楽コンクール最上位(1位なしの第2位)。他、受賞歴多数。

2013年クオアチア国際打楽器フェスティバル出演。2014年ルーマニアで開催された国際打楽器フェスティバルに於いてエマニュエル・セジョルネ氏のピアノ伴奏でマリンバ・コンチェルトを共演。2015年ベルギーにゲスト・アーティストとして招かれ、ソロ・リサイタルを行う。2017年より「藤澤仁奈マリンバリサイタル」を東京オペラシティ リサイタルホール、近江楽堂にて開催。2018年ミュゼザ川崎シンフォニーホールにて、ランチタイムコンサート/ナイトコンサートに出演。2020年NHK-FM「リサイタル・パッシオ」に出演。2021年2月ALM Recordsよりソロ・アルバム「リサイタル Récital」をリリース。レコード芸術誌2021年4月号「準特選盤」、音楽現代誌「注目盤」、stereo誌「今月の優秀録音盤」に選出。2021年4月服部和彦作曲個展において、ピヨンド・ザ・グリーン・ホライゾン~マリンバとオーケストラのために~(マリンバ・コンチェルト)を初演。

『Shiniti Uéno & PHONIX-Réflexion』のメンバーとしてコンサート、レコーディングに参加、CDをリリース。打楽器デュオ「Nino Nina」メンバー。現在、マリンバ・ソロ、アンサンブル、室内楽などの活動の傍ら後進の指導も行っている。

日本最大のマリンバメーカー(株)こおろぎ社「ネオリア neoria」契約アーティスト。



**Nino on!**  
Nino Hina

Producer and Engineer: Kotaro Yamanaka

Liner Notes: Masayuki Nino, Nina Fujisawa, Shu Kanematsu, Daiki Kato, Igor Lešnik, Makoto Kazama

Photography: Yoshinobu Fukaya (aura Y2)

Cover Design: Natsue Yamanaka

Special Thanks: KOROGI ([www.korogi.co.jp](http://www.korogi.co.jp))

Recording: 23-24 July & 20 November 2020, Sagamiko Community Center "LUXMAN HALL"